

# 書簡

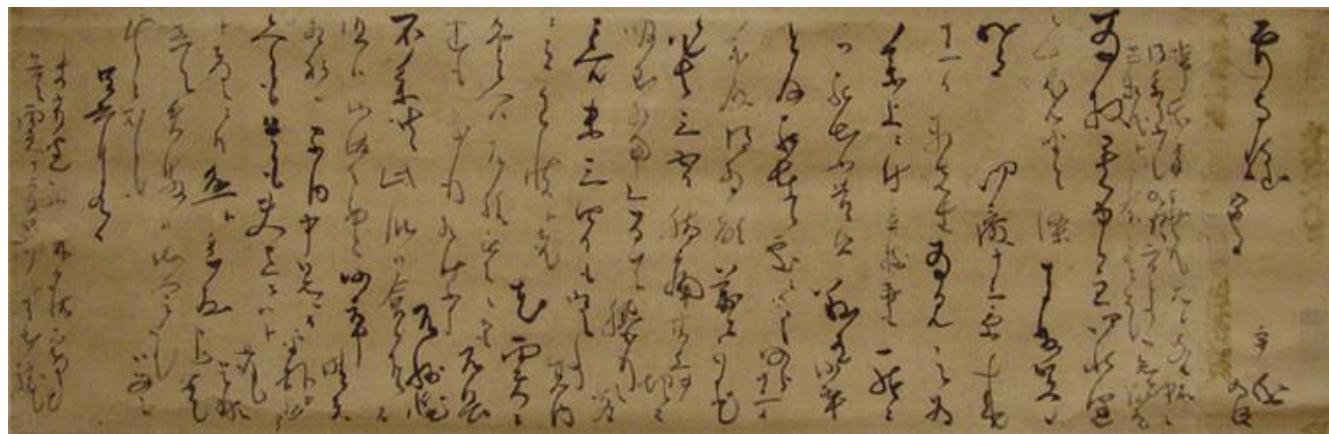
頬山陽

制作年：江戸後期

サイズ：16.8×51.8cm

材質：絹本墨書

所蔵：中津市木村記念美術館



正行寺様

事前に承らせ候へ共口口口故中々

御参り不申候ハト十二日之事御知せ難有候。

尚頼氏ト申合候半と奉存候

拝受暑中之至御杜健

被成御座候矣奉敬賀候

然者御 来ル

十二日頼先生拝見之為

參上付景樹事も一緒に

可罷出不苦候旨 難有何卒

と存罷在候処御さ候、何分十日

ノ義故、得拝顔萬々可申上候。

乍去三五日脚痛、其上を切候而

吸玉相用、今日ナト廢行之仕合

二候へ共、未ニ四日も明候事、其内

二者全快ト奉存候、尤雨天に

御座候ヘバ 左様無之候而も乍畏

逆も歩行相叶不申、乍慙愧

不參仕候、此段御含被下候而

宜御沙汰奉希候、何卒晴天

相祈候、家内中暑而平臥シ居申

候へとも是も夫迄ハト奉存候、是非

ト奉存候、行態ト宜敷申上可被下候。

喜一々失敬御海容可被下候 御答

頓首不一

閏六月九日

□□□□□ 御供可希候

吳々雨天ナラヌヤウト奉至禱候

本文：上記

箱書：表「景樹消息」

裏「本姓荒井氏 清水貞園ノ門景柄ノ嗣香川景樹消息正行寺雲華宛歌道桂園派頭領従五位下肥後守天保十四年没七十六才」

1996(平成8)年に中津市に寄贈

香川景樹（かがわかけき、明和5(1768)～天保14(1843)）は江戸時代後期の歌人です。鳥取に生まれ、桂園と号しました。歌人香川景柄の養子となります。後に独立し、独自に和歌の革新に取り組みました。また、古典研究にも優れた才能を発揮しました。歌集「桂園一枝」などの著書があります。